

# 平成 29 年 度 事 業 報 告 書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

認定特定非営利活動法人 HOKKAIDO しっぽの会

# 平成 29 年度事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで  
認定特定非営利活動法人 HOKKAIDO しっぽの会

## 事業の成果

本年度も活動の主軸である行政機関に收容されている犬猫の保護・譲渡事業を積極的に行い、北海道内の犬猫の行政での殺処分の減少に寄与しました。また、より多くの方々に対して、北海道、ひいては日本国内における犬猫の現状を、会報やインターネット、イベント等を通じて啓発し、人とペットが幸せに共生していく社会づくりに取り組みました。特に 29 年度はイベントも多く、パネル展示やさまざまな配布物で動物愛護と福祉の啓発普及にも努めました。新しい飼い主を探す事業では、保護した犬猫を適正飼養していただける方へ譲渡し、不幸な動物を減らすことに尽力しました。またペットと共生するための地域環境の保全事業では、野良猫に不妊手術を施した方々に対して多くの助成金を交付出来ました。

その他の事業として、飼い主がやむなく飼えなくなったペットを有償で引き取るペットの預かり事業も行い、行き場のないペットの減少に努めました。

北海道や保健所、動物愛護団体に、動物管理や福祉への提言等、積極的に働きかけを行い、北海道の新事業である「新しい飼い主探しノート」の実現に寄与できました。

## 事業の実施に関する事項 特定非営利活動に係る事業

### 1. 保護事業

行政機関から処分される犬猫を引き取って、新しい飼い主を探す事業では 82 頭の犬猫を譲渡していますが、前年度より 40 頭少なくなり、要因は保健所からの引取り犬猫がさまざまなハンデを抱かえ、譲渡までに時間やケアが必要な犬猫が多くなったことと、行政側の努力により殺処分予定など緊急性のある犬猫が減ったことが要因です。保護した犬は 56 頭、猫は 41 頭の合計 97 頭で、前年度よりも犬猫合わせ 43 頭少なくなりましたが、29 年度は野犬や咬傷事故を起こした犬の引き取りも多く、人や環境に馴染むまでに時間を要しています。当会では、野犬や繁殖犬等の他、高齢や病気や怪我等のハンデのある犬猫たちも分け隔てなく平等に引取りしています。当会で長く暮らす子も変わらず多く、老衰や病気が回

復せず亡くなる子もいます。亡くなった子は犬が 13 頭、猫が 5 頭でした。

保護状況（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

犬	引取り数	譲渡数	引き取り後死亡数	譲渡率
平成 29 年度	56	49	13	87.5%
平成 28 年度	68	64	14	94.1%
平成 27 年度	132	133	27	100.1%
猫	引取り数	譲渡数	引き取り後死亡数	譲渡率
平成 29 年度	41	33	5	80.5%
平成 28 年度	72	58	12	80.5%
平成 27 年度	66	73	9	110.6%
<b>平成 29 年度犬猫計</b>	<b>97</b>	<b>82</b>	<b>18</b>	<b>85.0%</b>

#### ■健康管理状況

保護した犬や猫は引き取り直後に動物病院で、感染症検査、混合ワクチン接種、基本的な健康診断もしています。引き取り直後の健康状態を把握することで、病気の早期発見や予防に努めることが出来ます。また、麻酔による弊害など健康に問題がない限り、引き取りした犬猫に避妊・去勢手術を実施、同時にマイクロチップも挿入しています。

また犬には狂犬病予防注射も接種しています。（長沼町への畜犬登録も実施）

これにより、病気の予防はもちろんのこと安易なあるいは望まれない交配を完全に防ぎ、迷子や遺棄の防止に役立っています。

#### ■飼育環境状況

新猫舎での暖かで快適な環境のお蔭で猫風邪の罹患率が低くなっています。預かりボランティアに介護が必要な犬を預かって貰うことで、ハンデのある犬の QOL が上がっています。

旧犬舎と新犬舎の排水溝に傾斜をつける排水工事を行い犬舎の環境が良くなりました。

複数の担当スタッフがプロの訓練士による指導を月 2 回程度受け、犬に対する理解と扱い方を学び、接し方等飼育方法の改善に役立てました。また、咬傷事故を起こした大型犬を適正飼育出来るよう長期的なトレーニングのため訓練所に預けました。

#### ■足長基金事業

足長基金は、高齢だったり傷病等のハンデがあるために、なかなか出会いがなく、健康な個体に比べてケアに人手も費用も多くかかる犬猫を対象にした基金で、29年度は犬 17 頭、猫 15 頭が足長基金の対象となりました。死亡や譲渡により減りますが、お蔭さまで長生きできる子も多く、常時 45 頭前後を看っており、平成 28 年度より常時 5 頭前後多くなってい

ます。中には毎日点滴をしている犬も数頭おり、スタッフの介護に要する時間も長くなっています。

足長基金により従来は諦めざるを得なかった、重症の犬猫も救えるようになりました。

## 2. 動物の保護・愛護・福祉の啓発事業

動物の保護や愛護、福祉をイベントやインターネット及び自会の会報誌等、テレビや新聞、雑誌等のメディアを通じて、子どもや保護者等多くの方々に生命尊重を伝えました。

29年度は、セミナーの講師として学校や自治体で動物愛護と福祉の普及に努めました。

また殺処分はもとより、不幸な犬猫を減らしていくことを使命とし、広く啓発活動を行い理解と協力を求めました。

北海道が平成30年度の新事業として開始した「犬猫の新しい飼い主探しノート」では、当会が札幌市で行っている「飼い主さがしノート」の資料を提出し、事業提案させていただき、早々に事業が開始されました。今後も「人と動物が幸せに共生する社会」の実現に建設的な意見要望を行ってまいります。

また、啓発事業の一環として、啓発文の入ったオリジナルカレンダーを中心にコラボイベントでのコラボグッズやペット用品の販売を行い、平成28年度よりも増収になりました。

## 3. ペットと共生するための地域環境の保全事業

狂犬病などの人畜共通感染症の恐ろしさを伝え、飼い主に正しい飼い方やワクチン接種の重要性を、一般市民にも保健衛生の大切さを伝えました。野良猫と共生できる方法を伝え、地域猫活動を支援しました。

「飼い主のいない猫基金」では、該当する地域猫活動グループに対し、野良猫の避妊・去勢手術代の一部を援助、地域猫活動の周知に努めました。平成29年度は222頭の野良猫に不妊手術の助成金を交付し、大きな成果を出すことが出来ました。

また室蘭市内の地域猫の活動を実施している町内会に継続的な支援を行い、室蘭市内だけで13件、72頭の猫の不妊手術を行いました。野良猫や保護猫を専門に不妊手術を行っている獣医師と協働し、大がかりな不妊手術も実施いたしました。

## 4. 犬猫の避妊去勢の普及推進事業

当会で麻酔等の健康上の問題がない限りは、保護した犬猫に不妊措置を行ってから譲渡しています。しかし「旭川市動物愛護センターあにまある」や札幌市動物管理センター（オス猫の去勢手術と一部のメス猫に避妊手術を実施）以外の自治体では、不妊手術の措置は行われずに新しい飼い主への指導での譲渡を行っています。

社会から、行き場を失う不幸な犬猫を減らしていくには、不妊手術を施してから譲渡することが重要と考えます。今後もさまざまな関係団体への働きかけや提案等を行ってまいります。

#### 5. 動物福祉・愛護・トレーニングに係わる講習会開催事業

4月から10月まで、月に2回ドックトレーナーを招き、犬のしつけ教室を11回開催、延べ39頭の犬と飼い主がプロの指導のもと問題解決方法や積極的な飼育を学びました。教室の内容をブログ等で紹介し、しつけトレーニングの重要性や、しつけトレーニングを行うことで、飼い主との関係強化のみならず、犬の精神状態が安定するなどの犬の福祉の向上につながることを伝えられるよう努めています。

#### <その他の事業>

当会の保護活動は行政機関からの犬や猫の引取りが基軸ですが、近年、少子高齢化、人口減少が問題となり核族化が進み、飼い主の事情でペットを終生飼養できない等の相談も多く、飼い主が飼えなくなったペットを有償で引き取りして、新しい飼い主を探す事業とペットホテル事業も行いました。少子高齢化、核族化により、益々需要が多くなる状況で、活動事業収入も平成28年度よりも多くなりましたが、行政収容されている犬や猫の命を優先し事業を行い、保護動物や保護啓発、活動資金としています。

## 【 平成 29 年度 毎月の活動報告 】

4 月

- ・「しっぽの会 in チカホ April」地下歩行空間で開催
- ・毎日新聞「まち散策」に掲載
- ・しっぽの会しつけ教室開催(10 月まで月 2 回ほど不定期開催・完全予約制)
- ・北海道内迷子犬猫情報の掲載開始
- ・NHK「ほっとニュース北海道」で「行き場を失った犬や猫 殺処分を減らすために」放映
- ・株式会社財界札幌 北海道の愛犬家の情報誌「わんハート」に掲載
- ・イオン岩見沢店さまで 2016 年度黄色いレシート贈呈式
- ・しっぽの会への訪問診療開始

5 月

- ・札幌市共催イベント「私たちにできること 2017spring」を地下歩行空間で開催

6 月

- ・長沼町道の駅「マオイの丘」で動物愛護と福祉の啓発とグッズ販売
- ・第 7 回 NPO 総会開催

7 月

- ・第 4 回ゆにガーデン陶芸&クラフトフェア参加
- ・JAMMIN 合同会社とコラボし、チャリティーT シャツ 1 週間限定販売
- ・第 1 回ボランティア・スタッフ交流会

8 月

- ・しっぽの会 LINE スタンプ第 2 弾販売開始
- ・第 1 回しっぽの会卒業わんにゃん同窓会開催

9 月

- ・札幌市動物愛護フェスティバル『人とペットの暮らし広場 2017』『北海道広域譲渡会』に参加
- ・北海道日本ハムファイターズ&しっぽの会コラボイベント開催
- ・空知獣医師会主催市民公開講座に講師として参加
- ・空知総合振興局動物愛護週間パネル展示に参加
- ・動物愛護フェスティバル in えべつに参加
- ・hand to heart ハッピーキャラバンに参加
- ・「2017 動物愛護フェスティバル in くしろ」パネル展示で参加

## 10月

- ・新十津川「駅長犬ララ～古里からのレール（みち）」イベントに参加
- ・2017 保護犬猫フェスタ in 北海道に参加
- ・吉田学園動物看護専門学校で特別講師として講義
- ・北広島市・恵庭市・千歳市3市合同 ROUTE36 JazzFestival2017 に参加
- ・2018 しっぽの会オリジナルチャリティカレンダー発売

## 11月

- ・北海道新聞朝刊生活面に第5回しっぽの会公開講座の記事掲載

## 12月

- ・第5回札幌市共催しっぽの会公開講座～人と動物・互いの福祉の向上を目指して～開催
- ・札幌市地下歩行空間で「私たちにできること 2017Winter」開催
- ・「第2次北海道動物愛護管理推進計画」パブリックコメント提出

## 1月

- ・代表稲垣辞任、新代表上杉就任
- ・「札幌市動物愛護管理推進計画（案）」札幌市議会厚生委員会で審議傍聴
- ・小樽市立望洋台中学校で講演
- ・領収書発行・発送作業
- ・1月5日発行『情報誌陽だまり』さまに飼い主募集掲載

## 2月

- ・えこりん村犬ぞり大会&えにわマルシェに参加
- ・吉田学園動物看護専門学校で折戸理事が講義

## 3月

- ・「札幌市動物愛護管理推進計画（案）」のパブリックコメント提出
- ・新札幌カラオケピロ스에、しっぽの会「わんルーム」登場
- ・札幌市動物愛護センター早期新設を求める連合会発足

- ・正会員更新数 192 名、サポート会員数 223 名、ジュニア会員数 10 名
- ・年度末足長会員数 357 名
- ・会報は1月、4月、7月、10月の年4回発行
- ・足長通信は毎月末発行

以上